



二宮尊徳 生誕二百年祭

今年、小田原で生れ、全国にその名を知られた偉人である二宮尊徳(金次郎)が生まれてからちょうど二百年になりました。本市では、これを記念して二宮尊徳生誕二百年祭を開催し、多彩な行事を実施いたしますので、その概要を紹介します。



二宮尊徳画像

天保13年(1842年)尊徳56歳の夏小田原の画家、岡本秋暉の軍で尊徳生前の頃の写によるものである。尊徳の居所は二宮家のもので、紋付は小田原藩主大久保家の紋所をつけている。(県指定重要文化財)



小田原市長
二宮尊徳生誕二百年
記念事業委員会 会長
山橋敬一郎

二宮尊徳(金次郎)は、天明七年(一七八七年)に現在の小田原市栢山に生まれました。尊徳は、若くして両親を失い、自家も没落するなど苦労いたしましたが、後に家を再興し、小田原藩主大久保忠真公の厚い信頼も得て、その人生の大半を全国各地の農村等の復興に尽力されました。

また、これらの経験から尊徳独特の原理と方法(報徳仕法)を生みだし、自ら実践して成果をあげることも、多くの人々の共感も得て、その考え方は今日もお私達の生活の中に脈々と生きつづけております。

本市では、この尊徳の遺徳を顕彰し、かがえのない遺産として永く継承するとともに、いわば「まちおこし」の先達ともいえる尊徳の教えを現代に活かし、地域文化の向上と地域産業の振興を図り、活力と魅力あふれる都市としていきたいと考えております。

また、尊徳生誕二百年祭につきましては、「おだわら21世紀プラン」に掲げられている四大イベントの最初のイベントでもありますから、その実施に当たりましては市民・民間団体・行政が一体となって、心ふれあう記念事業としてまいりたいと考えております。

本年二月には、多くの分野の方々のご参加を得て四十一団体が構成する「二宮尊徳生誕二百年記念事業会」が発足いたしましたので、今後はさらにみなさんと協働してこの記念祭を盛り上げていきたいと考えております。

そして、この期間中は、全国各地から訪れる多くの人たちに、尊徳の生誕地であり、歴史と文化に培われた小田原の魅力にふれていただくことを通して、小田原を全国にアピールしていきたいと考えております。

つきましては、この尊徳生誕二百年祭が盛大で有意義な記念事業となりまよう、市民のみならずのご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

記念事業

の4大イベントの一つに揚げ
三善さんとともに祝い、記念と
を計画いたしました。ここで
します。
これらから細部の検討をする
の協力と参加をお願いします



5月

小田原北條五代祭り

期間 5月3日(日)～5日(火)
鑑、甲に身をかためた北条五代の騎馬武者や
曾我十郎、五郎行列等に、今年も小学生による
金次郎行列も加わり、総勢約2000名が市中に繰
り出し、街中がお祭り気分一色で賑わいます。



6月

水稻栽培体験学習

期間 6月～10月
あまって捨てられた稲の苗を活用し
て、米の収穫という、史実に
ちなんで、尊徳ゆかりの捨苗場付近
の水田を利用し、児童が田植えから
収穫までを体験学習します。



「トンガリ」という天祥棒のような
棒の両端に薪の束を利用して運んでいる
金次郎です。

6

夏まつり

7月



日時 7月25日(土)・26日(日)
毎年恒例で実施している小田原ちようちん
踊り大会や盆踊り大会に加え、今年のみこし
も繰り出し祭りを盛り上げます。
また、こどもたちの作ったかかしのコンク
ールも開催されます。

ちようちん特別展

期間 9月4日(金)～10月11日(日)
場所 小田原城天守閣
小田原ちようちんをはじめ全国各地のちようちんを
陳列し、「灯りの歴史」として時代を追って現代に至る
までの灯りに関する器具類を展示します。



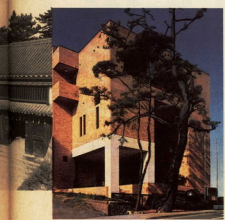
9月 ～10月

9月4日(金)～10月11日(日)
常木門及び報徳博物館
はつわる貴重な書物、遺品、肖像類等を
看か、尊徳の生い立ちから晩年までをわ
解し、尊徳の人間性や業績を紹介いたし

記念・協賛事業スケジュール

【記念事業実施期間
昭和62年4月～63年5月】

実施予定時期	事業名	実施予定場所等
4月3日～7日	極まつり (小田原北條五代祭り)	城址公園
5月3日～5日	(金次郎行列、尊徳博物館だより)	城址公園
5月	小田原市の民謡とNHKのついでに	中央公民館
5月	神奈川の民謡とNHKのついでに	富士見小学校
5月	はつらつスタジオ	富工業講義所
6月	水鏡展(複製、宇野浩二)	神奈川新聞
6月	新編の連続(複製、宇野浩二)	市民会館
7月	テレホンカードの発行	市民会館
7月25日・26日	夏まつり (かかしコンクール、みこしの参加、尊徳風船だより)	城址公園その他
7月	尊徳書物感想文コンクール	徳風船だより
9月	尊徳のしおり配布	
9月4日～10月11日	尊徳遺業展	常盤木門
9月4日～10月11日	ちようちん特別展	報徳博物館
9月10日	記念論文集の発行	小田原城天守閣
9月12日～10月11日	えりとちようちん江戸時	城内スポーツレク
9月12日～10月11日	代の小田原のまちなみ	リエーション広場
9月20日	えりとちようちん原簿パザ	市民会館
9月25日～10月4日	全日本報徳大会	市民会館
10月	記念映画の製作	
10月	小田原全産店街大感謝	
10月下旬	藤原市民交流旅行会	今市市へ
11月3日	子どもフェスティバル	市民会館
11月7日	子どもフェスティバル	市民会館
11月15日・8日	青果市場	青果市場
11月22日・23日	農まつり	市民会館
11月22日・23日	農まつり	リエーション広場
63年3月	梅まつり(東子展示会)	酒匂川流域
63年3月	尊徳マラソン	
63年3月	尊徳記念館開館記念事業	



63年



(完成予想図)

尊徳記念館の改築

完成予定 63年3月
尊徳生誕二百年を記念して、尊徳記念館の改築を行っています。この記念館は、地下1階、地上3階建て、延べ面積3910㎡で、尊徳の遺品等の展示室をはじめ、研修施設として図書室、視聴覚室等が配置されるほか宿泊室もあり、青少年からお年寄りの方まで幅広くご利用いただけます。

尊徳マラソン

日時 63年3月
場所 酒匂川流域
酒匂川の堤防には尊徳が植えた松樹が深い緑をたたえています。このゆかりの地で健康マラソンを開催します。

市民文化祭特別公演

日時・場所については調整中
尊徳にちなんだ創作劇を上演し、尊徳が活躍した往時をしのぶとともに、歴史と文化のまち小田原の創造をうたいあげます。

え〜と小田原

(江戸時代の小田原のまちなみ)



9月 〜10月

え〜と小田原
(江戸時代の小田原のまちなみ)

え〜と小田原 協賛バザール

期間 9月12日(土)〜10月11日(日)
場所 城内スポーツレクリエーション広場
会場では、尊徳が活躍した江戸時代の小田原にタイムスリップしたように、通り町脇町からなる当時の城下町の一部を模したまちなみがつくれ、往時の文化を楽しみながら回顧することができます。また、イベントステージでは多彩な催物が行われます。
また、え〜と小田原に併せて、地場産業の紹介と商品のPRを兼ねた大バザールが開催されます。

— 神奈川の民謡 —

FM公開録音

5月6日 午後6時から
中央公民館

— はつらスタジオ505 —

ラジオ公開録音

5月8日 午後6時から
市民会館

— ニューメディア展 —

衛星放送・文字放送、緊急警報放送システムの紹介
5月6日(木)〜5月8日(土) 市役所2階市民ホール

くらしの一分メモ

〜小田原編〜

5月16日 午後2時から
富士見小学校体育館

歴史講演会

— 東海道小田原の江戸橋脚 —

5月23日 午後1時30分から
商工会議所ホール

'87
小田原市民と
NHKの
つどい

二百年祭

おだわら21世紀プログラム、尊徳生誕二百年を記念するためのいろいろな事業は、事業の概要を紹介いたします。まだ個々の事業については、ものもありませんが、おまかせいたします。



さあ
一緒に
参りましょ

尊徳遺業展

期間 9月
場所 常
二宮尊徳は
多数展示する
かりやすく観
ます。

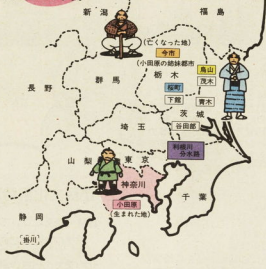


尊徳略年譜

(年齢は数え年・月は陰暦)

西暦	年号	年齢	尊徳主要事項	参考事項
1787	天明7年	1	7月23日(太陽暦9月4日)相模国足柄上郡箱山村(現在の小田原市箱山)で文利右衛門、母よしとの長男として誕生。	天明の大ききん(1783-1789) フランス革命(1789)
1791	寛政3年	5	箱勾川の氾濫で二宮家の田保没失。	伊能忠敬蝦夷地を測量(1800)
1800	12年	14	9月26日父利右衛門死す。	
1802	享和2年	16	4月4日母よし死す。酒匂川沿岸、二宮家屋敷、新田屋は伯父方兵衛にあずけられる。	
1803	享和3年	17	某種の政略や情高故郷から「讀小為大」の法則を学ぶ。	ナポレオン帝位につく(1804) リンカーン生(1809)
1805	文化3年	20	独立し二宮家再興に着手する。	
1812	文化9年	26	小田原藩家老、服部十部兵衛家に奉公する。	
1818	文化元年	32	服部家の財政建て直しに着手する。小田原藩主、大久保忠真から表彰される。	マルクス生(1818)
1820	文化3年	34	岡田波子と再婚する。斗巻の改修や小田原藩士のための志士談義創設する。	
1822	文化5年	36	小田原藩から宇津家桜岡荘(現在の栃木県二宮町)の建て直しを命ぜられ、一切の財産を処分し、翌年一家をあげて桜岡へ移る。	
1829	文化12年	43	桜岡の建て直しが進まず、成田山新勝寺に籠り21日間の断食修行を行う。	ベートーベン没(1827)
1831	天保2年	45	桜岡御前1期10年の仕方を完了する。	天保の大ききん(1833-1836)
1836	天保7年	50	烏山藩(現在の栃木県内)のきんに苦しむ人々を救う。	大塩平八郎の乱(1837)
1837	8	51	小田原藩のきんに苦しむ人々を救う。大久保忠実死す。	
1838	9	52	小田原藩仕法に着手する。	アーン戦争(1840-1842)
1842	13	56	幕府御預役格に任ぜられ、利根川分水嶺を調査する。	
1844	弘化元年	58	日光神楽所地所別荘調査を命ぜられ、皇國方書番(仕法総監)となる。	エジソン生(1847)
1845	2	59	相馬藩(現在の福島県内)仕法を開始する。	ペリー通航に乘船(1853)
1853	嘉永6年	67	日光神楽建て直しのため日光へ転任する。	日米和親条約(1854)
1856	安政3年	70	4月病に伏す。 2月御前御役任に任ぜられる。 10月20日(太陽暦11月17日)下野国今市(現在の栃木県今市市)にて永眠する。	

二宮尊徳活躍の舞台



二宮尊徳(金次郎)の遺業

生誕二百年を迎える今年こそ、本市が生んだ偉大な農村指導者、思想家でもあり、またおこしの先導者ともいえる尊徳を改めて見直したい機会だと思いませんか?

尊徳は小田原ばかりでなく國のとおり多くの地で農村復興等の事業にあたりました。その遺業は、さらにその弟子によって継承され北海道の札幌をはじめとする各地において事業が実施されています。



小田原に今なおのこっている二宮尊徳の遺跡。あなたも訪ねてみませんか?



酒匂川の松木木(坂口村付近)
13歳の尊徳が、子守をして得たお金で松苗を譲り受け、酒匂川の堤防補強のために植えられた松



尊徳誕生の家
尊徳の誕生した位置に移築還元された生家です。建築年月日は明確ではありませんが尊徳の祖先松右之門が寛保2年(1742)に独立した際に建てられたものといわれています。
昭和38年3月5日県指定重要文化財

尊徳一口メモ

『報徳仕法』とは?

尊徳が行った「世直し」すなわち一家の負債整理から農村復興に至るまでの方法を「報徳仕法」と言った。いわば赤字財政再建のための方法とでもいうものです。

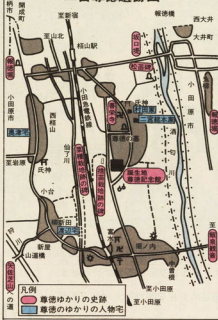
その中心の柱は、「節勞」を重んじ、収入に応じて支出に限度を設けて(=「分度」)を建てる。生活し、それによって余剰をうみ出し、将来のために譲り渡し、子孫、社会のために譲るという「節讓」の三要素であり、これを誠実に実行するのが尊徳の道であるとしている。

尊徳は、このような仕法を長期的な見通しと、科学的な計算に基づいて計画し、その実行によって農村や人々は貧困から解放されると考えた。

…なお、尊徳について、もっといろいろな事を知りたい方は次の所へお出かけください。

- 小田原市尊徳記念館 (昭和63年5月開館予定)
(市内箱山2064 ☎36-0535)
- 小田原市立図書館
(市内城内7-17 ☎24-1055)
- 報徳博物館
(市内南町1-5-72 ☎23-1151)

二宮尊徳遺跡図



●記念事業の推進体制

二宮尊徳生誕二百年記念事業会

(会長 小田原市長)

(順不同)

- 小田原市(市・市議会)
- 神奈川県
- 小田原市自治会総連合
- 小田原商工会議所
- 小田原青年会議所
- 小田原市商店街連盟
- 小田原市観光協会
- 小田原市地場産業振興協議会
- 小田原北條五代祭り実行委員会
- 夏まつり実行委員会

- 農業まつり運営委員会
- 青果まつり実行委員会
- さかなまつり開催協議会
- 梅まつり実行委員会
- 梅まつり菓子展示会開催協議会
- 小田原市農業協同組合
- 早川農業協同組合
- 小田原市森林組合
- 小田原市校長会
- 小田原市文化団体連絡協議会

- 小田原市地域婦人団体連絡協議会
- 小田原市青少年指導員協議会
- 小田原市子ども会連絡協議会
- 小田原市体育協会
- 小田原市社会福祉協議会
- 小田原市民生委員・児童委員協議会
- 小田原市老人クラブ連合会
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 東海旅客鉄道株式会社
- 小田急電鉄株式会社

- 箱根登山鉄道株式会社
- 伊豆箱根鉄道株式会社
- 横浜銀行
- 駿河銀行
- 小田原信用金庫
- 全国国体団体連絡協議会
- 大日本報徳社
- 北海道報徳社
- 一円融合会
- 報徳実行委員会